

令和8年度 中学部 指導の方針と重点

教育目標

校訓 「強く 明るく 仲良く」

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな教育を行うことにより、一人一人の可能性を最大限に伸ばす。さらに、「強く 明るく 仲良く」生きようとする意欲を高め、一人一人の自立と社会参加を目指し、基礎的・基本的な力を身に付け、「生きる力」を育む。

指導の方針

【願う姿】

- 生活経験を広げ、仲間や社会の人々と明るく生活する。
- 自ら身体を動かし、運動に親しむ。
- 責任感や協調性をもって主体的に取り組み、根気よく働く。

- 個々の実態を的確に捉え、将来を見すえた、一人一人の教育的ニーズに応える学習活動を進める。
- 運動に親しみ、健康と体力の増進に努める。
- 地域・保護者・関係諸機関との連携を図り、社会で生きていくために必要な望ましい態度や生活習慣の形成を図る。

指導の重点

1 自ら学ぶ力を育てる

- (1) 自分の思いを伝えたり、周りの人とかかわったりする力を養う。
- (2) 作業学習や係活動等の中で、働く活動に興味・関心をもち、自分から進んで働く力を身に付けることができるように支援する。
- (3) 個に応じた支援環境を整えることで、自分から動いたり自分で考えたりする力を育む。

2 健康な心と身体を育てる

- (1) 適度な運動をしながら規則正しい生活を心掛け、身の周りや身体の清潔を保ち、健康を管理することができるように支援する。
- (2) 他者から認められたり自分の良さを認めたりすることで、自己肯定感を高めることができるように、役割分担のある生活や活動ができる場面を設定する。
- (3) 当事者としての危機管理意識をもって、生徒の安心・安全の確保に努めるとともに、命の大切さを伝える。

3 社会の中で生きていく力を育てる

- (1) 実践的な活動の機会を増やし、「自立・社会生活」を念頭に置いた一貫した指導に努める。
中学部卒業後に向けて丁寧な進路支援を行うとともに、将来的・展望的な情報を伝える。
- (2) 基本的生活習慣や社会生活に必要なルール等を身に付けることができるように支援する。
- (3) 自分の役割を意識し、仲間や周りの人とかわりながらできるような場面を設定する。
- (4) 保護者や福祉・医療機関等と連携を図り、共通理解のもと、きめ細かな支援にあたる。